



ほんじつ 本日のおすすめの本⑦

『ぼくだけのこと』

もり えと きく ・ スギヤマカナヨ え

ほるぷ出版(1989年初版)

*この本は絵本の「も」の書棚にあります。(貸出可能)

みなさんは、じぶんだけにある大切な宝物や、じぶんだけにできる得意なことはありますか？

この絵本では、「ぼく」が、じぶんだけにあることを探していきます。

たとえば・・・

(本文より)

「せかいには にんげんが たくさん。

でも、きょうだいで ひとりだけ えくぼがあって、 かぞくで ひとりだけ さかだちあるきが できて、 クラスで ひとりだけ げいのうじんの サインを もってなくて、 がっこうで ひとりだけ ひんけつで たおれて、 まちで ひとりだけ となりの チャッピーに ほえられないのは、 ぼくだけ。 これって、 すごいことだ！……」

世界にはこんないたくさん人がいるのに、「ぼく」と同じ人は一人もいないと気づきます。

みなさんも、じぶんだけにあることを、探してみませんか？

きっと、じぶんがどれだけ「大切な存在」であるか、わかりますよ。



よ
読んでもらうなら、
1年生から。
自分で読むなら、
2年生ぐらいから。



もり えと きくさんの 作品は、今年度から 6年生の教科書に掲載されました。

もり えと きくさんは、人の心が、小さな気づきをきっかけに、どんどん変わっていく様子を描くことが、とても上手な作家です。

「にんきもののひけつ」など、低学年のお友達でも楽しく読むことができる本がたくさんあります。

もちろん、中学生に人気の『リズム』や『DIVE!』もたいへん読みやすく、登場人物に自分を重ねて読むことができます。

幅広い年齢層に読まれている作家です。

ぜひ読んでみましょう。